

# 「県下1の財政力は市民のために活かすべき」

2022年度

## 一般会計決算認定に反対

2022年2月24日、ロシアによるウクライナ侵略の影響で、物価高騰が世界に広がり、市民生活は不安定で苦しい1年でした。党市議団は、2023年9月議会での2022年度決算認定の審査において、市の財政が豊かであることを明らかにし「基金への積立額が過大すぎる。物価高騰対策等に活かすべきであった」と、財政運営の改善を求め、反対しました。

## ●戸田市は県下1の財政力

・財政力指数が1.0を超えていると、市独自の財政力で市政運営が十分にできると判断され、国からの交付金が不交付となります。



2022年度の財政力指数の近隣市との比較

## ●2022年度の決算状況

・歳入総額 637億1780万4779円  
・歳出総額 591億7443万7423円  
・歳入歳出差引額 45億4336万7356円  
・差引額の30億円を財政調整基金に積立（財政調整基金が73億円となる）

## ●実質収支比率14.3%

（適正範囲3～5%）

・税金が市民生活に十分に活かされていないと指摘されてもおかしくない数値。

# 「豊かな財政をくらしと生業の隅々に活かす予算編成を」



2023年10月10日、党市議団は、市民や市内団体から寄せられた声を取りまとめた「2024年度予算・市政運営への要望書」を菅原市長に提出。市の豊かな財政を、くらしと生業の隅々に活かすよう求めました（要望書の全容は市議団HPでご覧いただけます）。

## 予算要望の主な項目

- プレミアム付電子商品券を紙でも発行すること。
- 敬老祝品の1万円分贈呈を継続すること。
- 小中学校の給食費を無償にすること。
- こども医療費の通院費を高校卒業まで無償にすること。
- 国民健康保険税、介護保険料を引き下げること。
- 加齢性難聴者のための補聴器購入費助成制度を創設すること。
- 埼京線のホームドア設置をJRに強く申し入れること。
- ゼロカーボンシティ宣言を早期に行うこと。
- 災害対策を強化すること。
- 戸田市内での保健所再整備を県に要望すること。など



市議団HP

# 要求実現 市民と共に市政動かす！

## こども医療費無償化 高校3年生相当の年齢まで拡大

2024年7月から、こども医療費の通院費が高校3年生相当の年齢まで無償になります。党市議団は、**2024年7月から**署名や一般質問などを通じて、「子育て世代への更なる負担軽減を」と高校卒業までの通院費無償化の早期実現を強く求めてきました。

## 12月議会 補正予算に賛成

### 住民税非課税世帯へ7万円支給

価格高騰で、家計負担が大きくなった低所得世帯に対する給付金7万円が、2023年に3万円の給付金を受け取った世帯には、同年12月末に支給されました。家計急変世帯や転入世帯などは申し込みが必要です。申請期間、問合せ先などは下記の通りです（市HPで制度概要が見ることが出来ます）。

【対象者】2023年度分の住民税均等割が非課税である世帯で、2023年12月1日時点で、戸田市に住民登録がある世帯（住民税課税者の扶養親族のみの世帯は除く）

【申請期間】2024年1月9日（火）から同年3月21日（木）まで  
※申請には、申請書や添付書類などが必要

【問合せ先】「コールセンター」048-424-9591  
「受付・相談窓口」市役所5階503会議室

### あらゆる世代の市民生活を守る 緊急支援

#### ◆プレミアム商品券TODAPAY販売

2024年3月中旬申込み開始予定

・13,000円（販売価格10,000円）、プレミア率30%、30,000セット

#### ◆保育士給料「月額3万4000円」上乘せ支給

2024年3月から前倒し実施

・市内保育士の人手不足を解消するため、2024年度からの実施を検討していた保育士給料に月額3万4000円上乘せする「とだ保育士応援手当」を、2024年3月から前倒し支給

#### ◆ターミナル・停留所等の整備 若年層へのバス利用促進

・地域公共交通を維持するため、下笹目バスターミナルの再整備基本計画の策定及び老朽化したバス停留所の修繕を実施  
・スタンプラリー等により、子どもを含めた若年層へのバス利用促進



本田哲市議  
一般質問

### 9月 子ども医療費通院費を高校卒業まで無償に

**【本田】** 党市議団は、市民と共に、子ども医療費の無償化拡大を求め実現させてきた。埼玉県が、子ども医療費助成の対象年齢を引き上げる方針を示している。物価高騰も続き賃金が上がらない今、通院費を高校卒業まで無償化し保護者負担を軽減すべきではないか。

**【答弁】** 埼玉県が、支援対象年齢をどこまで引き上げるか等を含め、国や県の動向を注視し、総合的に判断していきたい。

→2024年7月より無償化実現→

### 12月 2024年度予算は、様々な負担軽減策を講じる予算に

**【本田】** 戸田市の豊かな財政を市民生活や生業の隅々まで活かす予算編成が必要と考える。予算編成の考えは。

**【答弁】** 市民の命とくらしを守るため、限られた予算の中で最大の効果を発揮するよう編成を進めている。

### 生活保護に夏季加算の新設を

**【本田】** 夏の猛暑対策として、生活保護に夏季加算を新設すべきではないか。

**【答弁】** 生活保護は、生活保護法や生活保護基準等に基づき実施しているため、市独自に夏季加算を新設することはできない。

### 親水公園のトイレの早期修繕を

**【本田】** 川岸3丁目の親水公園の男子トイレの個室が使用できなくなっている。早期修繕を望む声が寄せられている。今後の修繕スケジュールは。

**【答弁】** 今年度中に不良箇所調査を実施し、詰まり等が原因なら、今年度中又は来年度早々に修繕する。躯体の老朽化等なら、再築等に向け予算化を検討する。

### 花火大会メイン会場内に、無料観覧席の復活を

**【本田】** 「文化芸術基本法」では、「文化芸術を享受することは生まれながらの国民の権利である」と定められている。今回、メイン会場内を全席指定有料席としたことは、市民の権利を阻害していると考えられる。来年以降、メイン会場内に無料観覧エリアを復活させるべきではないか。

**【答弁】** メイン会場内に無料観覧エリアを確保するかも含め検証する。



むとう葉子市議  
一般質問

### 9月 安全な食材を使用した学校給食費の無償化を

**【むとう】** 令和6年度以降も学校給食費を無償に。また、有機農産物を給食に取り入れてはどうか。

**【答弁】** 令和6年度以降は、第3子以降の学校給食費の免除を行う予定。有機農産物は食材の量の確保、流通体制、安定した価格で購入できれば取り入れたい。

### 高齢者支援の充実を

**【むとう】** ①令和6年度からの第9期戸田市介護保険事業計画において、介護保険料は引き下げるべき②高齢者が利用できるタクシー券の補助を③令和6年度以降も、敬老祝品(商品券)の1万円贈呈の継続を。

**【答弁】** ①高齢化が進む中、引き下げることは大変難しい②介護タクシー利用助成などもあるので、合うものを利用して欲しい③国から新たに交付金が示されたら検討する。

### 花火大会における出店の改善を

**【むとう】** 市は出店業者の意見をどのように把握して計画に反映させたのか。販売の場所有料席のみであり、格差を感じたという市民の声もあった。市民サービスをどのように考えているのか。

**【答弁】** 出店業者の意見は、戸田市商工会と戸田市商店会連合会から意見があった。今大会は安全性を重要視した。寄せられた声や警察の意見も聞きながら多くの市民に親しまれる花火大会を目指し、議論していく。

### 12月 子どもの居場所の充実を

**【むとう】** ①子ども食堂や学習支援事業に対する市独自の補助金創設を②学校の教室、調理室を長期休み中、ボランティア団体に貸し出してはどうか③東部福祉センターの体育室にエアコン設置を④ボールを使える公園を増やしてはどうか。

**【答弁】** ①社会福祉協議会等の補助金利用を勧める②防犯面や子どもの個人情報等があり貸し出しは難しい③大規模改修の時に検討する④公園リニューアル計画の中で、喜沢児童公園内にボールが使える場所をつくる。

**【むとう】** 子どもの居場所事業の将来像や総合的なビジョンをどのように考えているのか。

**【答弁】** 現在、アンケート調査でニーズを把握しており、今後各課と連携し、令和6年度に「子ども計画」をつくる。

### 男女共同参画の推進を

**【むとう】** ①とだあんさんぶるプラン(男女共同参画計画)の達成率は②男性の育児休暇取得を進める取り組みは③婚姻届の記載例の改善を④戸田市パートナーシップ制度の周知や性的マイノリティへの理解促進を。

**【答弁】** ①40%。性別役割の考え方や教育分野で達成②男性の育児休暇取得率も年々増加。職員の負担が増えないよう職員の配置を行う③記載例は夫と妻の氏にレ点チェックしたものを2枚に。また保証人は第3者に改善し、説明を追記した④市HPやSNS等で周知し、あいパルの男女共同参画コーナーや埼玉県LGBTQ講座等で性的マイノリティへの理解をすすめている。



花井伸子市議  
一般質問

### 9月 プレミアム付き商品券は、紙の商品券との併用を

市が発行した30%のプレミアム付き電子商品券について、「スマホがないと申し込めない、紙の商品券も発行してほしい」と多くの方から要望があった。1次当選率46%という結果に不満も続出。来年度は、紙と電子商品券の併用で、予算全体を増額し当選確率を上げる事、加えてトダベイ加盟店を拡大するよう求めた。

### 自転車損害保険加入の義務を

2018年度、埼玉県は自転車保険の加入を義務化した。戸田市では、まだ3割近い方が加入していない。「自転車保険に加入してなくて困った」との事故相談が相次ぎ、さらなる啓発の強化を求めた。

### トラブル続きのマイナンバー

### 市は「国へ保険証の廃止・保険証の一体化中止」を求めるべき

全国でマイナンバーカードのトラブルが続出している。特に健康保険証との一体化においてのトラブルは命に直結する大問題である。市は市内民間医療機関や薬局でのトラブルに関しては把握していないと答弁。個人情報の漏洩やプライバシーの侵害にあたることから、G7参加国で日本のようにマイナンバーカードと他の保険番号等を一体化している国はどこにもない。マイナンバーカードは強制すべきではなく、保険証はこれまで同様発行すべき。

### 12月 誰一人取り残されない教育の充実を

**【花井】** 文科省が2023年10月に公表した2022年度いじめ・不登校等調査報告では、全国で小中学校の不登校児童生徒数が過去最高に達した。本市の不登校児童生徒数の現状、原因・問題をどのように捉えているか。

**【答弁】** 本市の状況においても同様に小・中学校ともに増加傾向にある。原因は友達関係の悩みや学業不振、進路の悩みなど複雑多岐にわたっている。不登校児童生徒とのつながりを切らさず、児童生徒の学びの機会を確保することが重要と捉え、令和4年度から戸田型オルタナティブ・プランのもと、多様な学びの場の選択肢・教育相談の充実に関心を込めている。

**【花井】** 本市のオルタナティブ・プランの現状と実績は。

**【答弁】** 「誰一人取り残されない教育の実現」をめざし、学びの場の選択肢を拡充した。また、早期発見・支援につなげる研究、専門的知見を有する方々を外部研究員として委嘱し調査・研究、指導・助言をもらっている。さらに、主に保護者を対象とした「戸田市不登校について考える会」を開催している。それぞれに成果が表れ、子どもや保護者への負担軽減、学校、教員の支援にもつながっている。

**【花井】** 今後の課題と対策は。

**【答弁】** 不登校により学びにアクセスできない子どもを出さず適切な学びの場につなげていく事が課題。対策として学びの場の設置と児童生徒や保護者に必要な情報を確実に届けることが重要。不登校に対する研修、情報発信、教員が連携し、学校全体で児童生徒を支援する教育相談体制の充実にも努める。

### 「議員の期末手当引き上げは見送るべき」 党市議団 引き上げ分はガザ人道支援募金に

人事院勧告に伴う議員の期末手当引き上げの条例改正に、党市議団は「物価高騰に賃金の上昇が追いついておらず、市民は大変な生活を強いられている。このような時に、議員の期末手当を引き上げるべきではない。見送るべき」と訴え、委員会と本会議の採決時に退席しました。

党市議団は、引き上げられた期末手当2万7000円(1人分)を、党本部を通じて国連児童募金(ユニセフ)に届け、ガザ人道支援募金に充てました。

### 党市議団 ありがとうを伝え合おう条例(案)上程に賛同できない

戸田市議会の総務常任委員会が議論してきた「ありがとうを伝え合おう条例(案)」。

党市議団は「ありがとう」と言うことが強制にならないよう、条文の修正に努めてきましたが、議会が行ったパブリックコメントや地域の方から「ありがとうと言うことを、条例で強制しないでほしい」等の意見が寄せられました。党市議団は、市民の声を重く受け止め「条例というものの重みを考えれば、強制になることが懸念される」と、条例(案)上程に賛同できない意思を表明しました。

2024年1月に開かれる全員協議会で、全議員への周知と質疑が行われ、同年2月臨時会で委員会提出議案として上程され、採決が行われる予定です。

